

瑞穂まちづくり協議会だより 第18号

みずほ台自治会の要望を受け9月17日に設置しました。

スピード出しすぎの注意看板



瑞穂まちづくり協議会（会長：飯島 健）では、各区、自治会、安協、PTA等と連携し、地区内の交通危険箇所について点検のうえ、注意表示看板の設置をこれからも進めていきます。日頃気になっている危険箇所の情報をお寄せください。

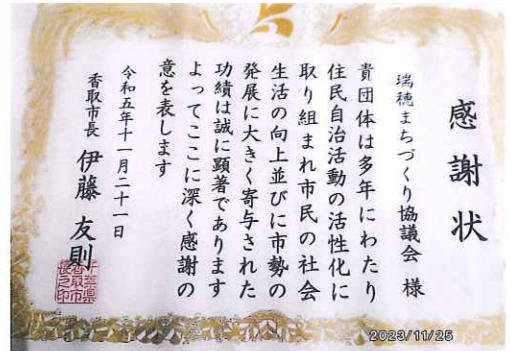
対面式で総会を開催しました。

これまでコロナ禍から書面で総会を行ってききましたが、令和5年度の総会是对面式により6月3日（土）にみずほふれあいセンターで22名が参加（このほか委任状15名）して開催され、全ての議案が承任されました。



香取市長から 感謝状が授与される

11月21日香取市役所において、伊藤友則香取市長から、瑞穂まちづくり協議会に対し、設立10年の活動をたたえ、感謝状が授与されました。



目次	● 交通危険箇所注意看板の設置 ● 総会の開催、感謝状の授与 …………… P1
	● ミュージカルコンサートの開催（小学校との連携行事）…………… P2
次	● みずほ台秋祭り・防災訓練の開催 ● 中止となった健康ウォーキング大会 … P3
	● 第7回西坂神社新嘗祭企画展開催 ● 瑞穂の歴史 その10 …………… P4

劇団四季出身俳優達による ミュージカルコンサートを鑑賞しました。

地域の拠り所、瑞穂小学校との連携行事は、今年で6回目。文化薫る秋、明治9年（1876）11月23日に瑞穂小学校は創立されましたが、その創立を祝して前日の11月22日（水）、生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さんのほか、地域の皆様にもお声かけをして盛大にミュージカルコンサート「かぶりっちょ」は開催されました。



～かぶりっちょ～

♪ 楽団の紹介♪

かぶりっちょは、本格ミュージカルコンサートを出張する団体です。数ある団体の中でも日本のミュージカル界トップレベルである劇団四季出身俳優を中心に構成されたプロの集団がキャスティングされています。なかなか劇場へ足を運ぶことが難しい小さなお子様や保護者の方、ご高齢の方などにも本物の音楽に触れていただきたい。そんな想いから生まれた出張コンサートです。

♪ プログラム♪

- I ようこそ劇場へ
- II パートオブユアワールド ～リトル・マーメイドより
- III 陽ざしの中へ～ノートルダムの鐘
- IV ありのままで～アナと雪の女王
- V 私のお気に入り～サウンドオブミュージック
- VI サークルオブライフ～ライオンキング・交流コーナー
- VII アラジン朗読劇
- VIII ドレミの歌
- IX ありがとうの花（全校合唱）



鳴り止まぬ
感動の拍手!!



みずほ台秋祭りの開催

9月30日 第30回みずほ台のお祭りを開催いたしました。今年も昨年同様猛暑を避け秋祭りとして地域からの応援もいただき800名に迫る参加となり盛大に開催することができました。今年には地元の山車の引き回しが同時開催されにぎやかなものとなり、新たに子供抽選会をはじめ、子供からシニア向けのブースを新設し、好評に終わることができました。次回も改善を加え良いお祭りにしてまいります。皆様のご協力に感謝申し上げます。御礼といたします。

みずほ台自治会長 柳田 恵司 みずほ台お祭り実行委員会



みずほ台【防災訓練】の開催 みずほ台自治会・管理組合

11月12日 みずほ台コミュニティセンターにおいてLINEによる安否確認訓練（286名）と救命救急・AEDの操作訓練が香取消防署の指導をいただき開催されました。いち早い対応で安心安全な街づくりになりますように訓練を進めてまいります。参加者：香取消防署4名 参加者25名



第9回健康ウォーキング大会

大会は悪天候のため中止に 待ちにまった10月15日の健康ウォーキング大会は、低気圧の急激な発達の前報により、やむなく中止になりました。申込者やスタッフを入れると77名の大人数になり、楽しみにしていた人のことを考えると、前日まであまりに天気が良いので中止する旨の電話は断腸の思いでつらい作業でした。

雨による中止は、今回が初めてであり、参加予定者からは「来年以降は土曜日設定。雨の場合は日曜日振替にしてほしい」など貴重な御意見をいただきましたので、良い教訓として行きたいと思えます。

なお、このウォーキングコースについて、日頃の健康づくりや地域の憩いの場として広く活用していただけますと幸いです。

彼岸花が咲く令和の杜 →



第7回西坂神社新嘗祭企画展の開催

いにいめさい

令和元年11月23日開催以来、コロナ禍で休止しておりました新嘗祭企画展が4年ぶりに、11月23日(木)古社西坂神社(宮司:鶴崎すみ江、会長:栗林利男)において開催されました。企画展には、瑞穂小学校、佐原第五中学校の生徒の皆さんから作文・書写・絵画など66点の作品が応募されました。このうち優良の作品の発表は当日9名の生徒によって行われました。

来賓には、衆議院議員(谷田川 元さん)市教育委員会(教育長、堀越 洋さん)佐原第五中学校(校長、松下和彦さん)瑞穂小学校(教頭、伊藤誠子さん)が出席されました。

当日はアトラクションに「粋太鼓」一座の演奏も加わり、華を添えました。西坂神社新嘗祭企画展実行委員会の皆様ご苦労様でした。生徒の皆さんのますますの成長を願ってやみません。



瑞穂の歴史 その10～「光福寺・梅林寺本尊」～

仏教は取り巻く世界を仏像や絵画など見える形にしました。臨済宗妙心寺派の古刹光福寺本尊は、往古十一面観世音菩薩でしたが、現在の本尊は釈迦如来・普賢菩薩・文殊菩薩です。主尊の釈迦如来は、鎌倉期の作と伝わります。木造寄木造りの座像で、高さは65センチ。右脇侍の文殊菩薩は、片足を他の膝頭に掛けて腰かける姿の半跏像で宝冠を着け、獅子に乗っています。座高は38センチ。また、左脇侍の普賢菩薩も半跏像で白象に乗り宝冠を着けています。市内では、この種の仏像は類例がなく昭和45年に市指定有形文化財となりました。

光福寺については、これまで後醍醐天皇の綸旨や国分氏との関係について述べてきましたが、時代は下り江戸初期の御水尾天皇から下賜された袈裟・御宸翰・詩歌などが残されています。このうち詩歌について紹介しておきます。

<山の端のみえぬを老にかこちても霞にけりな春の曙>

光福寺の末寺の西和田梅林寺の本尊は、木造観音菩薩坐像(釈迦如来坐像の姿をしている)で、像高83センチ、ヒノキ材の寄木造りで漆箔仕上げです。この像は、『瑞穂郷土史』作成中偶然胎内から銘文が発見されました。銘文は、「観世音菩薩像で木内庄(現香取市油田)崇福禅寺の本尊也、大檀那は道宋也、大仏師は法眼康舜並びに子息雲隆、日付けは南北朝時代文和3年(1354)8月22日、寺住持は比丘従信、助縁に大戸祢宜六入道」とあります。

この像は、鎌倉時代末から南北朝期に南都(奈良)大仏師康俊・康成に連なる仏師康舜の作として造立年代も明確であり、当時の慶派末流の堅実な彫技を示す貴重な遺品として、平成16年県指定有形文化財になりました。

この銘文から、大檀那道床は在地領主木内氏。助縁大戸祢宜六入道は国分氏と推測できます。神仏習合の時代、神社でお経をあげることは一般的に行われており、彼ら千葉一族は一人三役を行い、武士でありながら、大戸神社の祢宜(神官)になり、また入道(社僧)にもなって地域の橋渡し役を行っていた姿が読み取れます。なお、いつ崇福寺から梅林寺本尊に移されたかは不明です。

問合せ
連絡先

佐原市民活動支援センター

電話 50-1213 FAX 52-4566
E-mail casc.sa@city.katori.lg.jp